

世田谷区本庁舎等整備事業

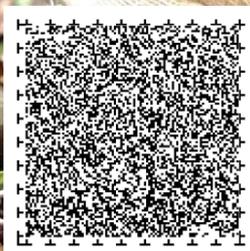


庁舎の木を活かすワークショップ

レポート

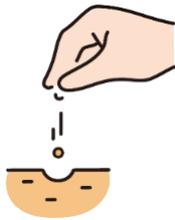


3
2023



目次

01



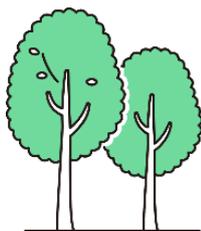
庁舎の木を活かす
取組みとは？

02



令和4年度
第1回ワークショップ
・伐採、枝払い
・運搬
・玉切り、樹皮剥き
・製材

04



令和4年度
第2回ワークショップ
・植付計画
・苗木採取
・植栽ユニット制作



庁舎の木を活かす取組みって どんな取組みなの？



世田谷区本庁舎等整備工事に先立ち行った樹木診断において、状態が悪く、残存させることが困難な樹木や移植の難しい樹木等について、伐採・処分するだけでなく、区民ワークショップを通して、新区民会館で家具等に再活用する取組みです。

この取組みは、令和3年度から5年度までの3年間のプロジェクトです。

令和4年度は、3年度の参加者に新たな協力者が加わり、5年度の家具制作につながるプログラムを実施しました。



令和3年度
プログラム



令和5年度はどんな活動をするの？



令和5年度は、伐採したケヤキ等でテーブルやイスを制作し、リニューアル後の区民会館エントランスホール等に配置します。

区民のみなさんと一緒に家具を仕上げるワークショップ（令和5年秋ごろを予定）の詳細は、区のおしらせ（広報誌）やHPでお知らせします。



令和4年度第1回

6/11 開催

樹木伐採ワークショップ

1回目のワークショップでは、本庁舎等整備工事で伐採・処分する予定であったコブシを参加者とともに伐採・製材し、令和5年度の家具制作の材料として活用します。講師の湧口さんから、枝払いや樹皮剥きで使用する道具の使い方のレクチャーを受け、安全に十分配慮しながら作業を開始しました。

伐採・枝払い



- ① 高さ3mほどのコブシに参加者が順番にノコギリで刻みを入れます。
- ② 伐採の職人さんがロープで引っ張りながら、ゆっくりと倒します。
- ③ 伐採したコブシを運搬しやすくするため、一本ずつ枝を払います。

運搬



- ④ コブシ本体に運搬用のロープをくくりつけ、参加者全員が汗をかきながら作業場まで運びます。
- ⑤ 小さなお子さんも枝払いした枝を作業場まで運んでくれています。

玉切り・樹皮剥き



- ⑥ 令和5年度制作する家具を想定しながら、玉切りしていきます。
玉切りとは、伐採した樹木を用途に合った寸法の丸太に切断してく作業です。



- ⑦ 樹皮剥き専用の鎌を使い、皮を剥いていきます。
⑧ 慣れてきて、背丈ほど長い皮を剥けた参加者も！



製材



- ⑨ 樹木を家具に活用するには、反りや狂いを少なくするために乾燥させる必要があります。
そのため、枝や樹皮を取り除き大鋸(おが)※を使って製材していきます。
子ども達は大人以上に大活躍！



※木材を製材するための大型の鋸(のこぎり)

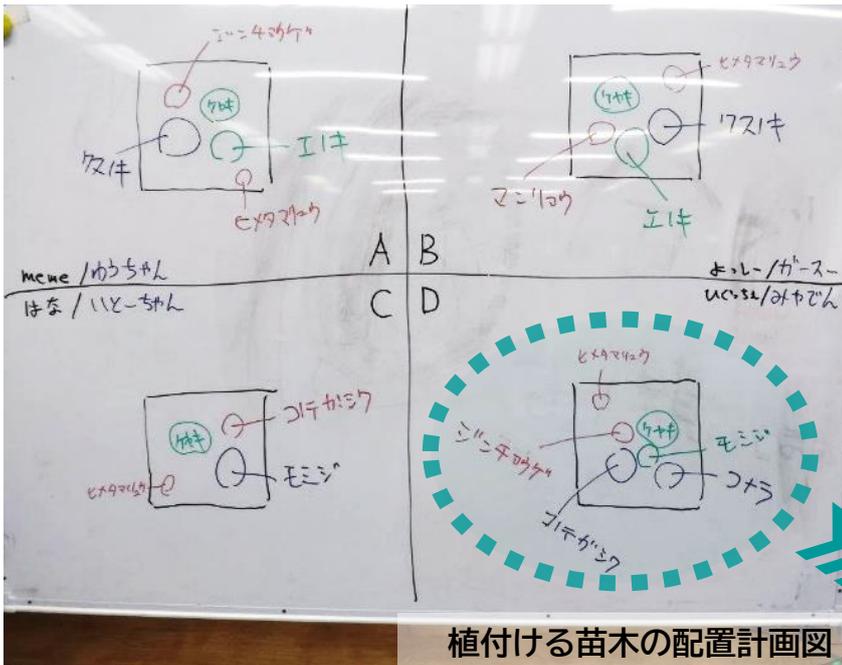
参加者のみなさん
子どもから大人まで
幅広い層が参加してくれました！

令和4年度第2回
11/26開催

苗木採取&植栽ユニット制作 ワークショップ

2回目のワークショップでは、区役所敷地と上野毛自然公園で採取した苗木で植栽ユニットを制作しました。植栽ユニットは、リニューアル後の区民会館に令和5年度制作する家具とともに展示します。

植付計画



植付ける苗木の配置計画図

常緑・落葉、高さなど、バランスのよい植栽ユニットになるよう、植付ける苗木の配置計画を立てました。令和3年度からの参加者には、ワークショップで採取し、自宅で大切に育てた苗木を持ち寄ってもらいました。



採取した苗木

苗木採取

⑩植付計画で採取する苗木の目途をつけて、上野毛自然公園へ。苗木の根を傷つけないように慎重に掘り下げ、土と混ぜ込むようにバケツへ移します。採取できたら、いよいよ『植込み』です！



参加者のみなさん(上野毛自然公園)

植栽ユニット制作



完成した植栽ユニットは
新区民会館に展示します





ワークショップで活用した樹木の断面と
樹種を線で結んでみよう！



正解はコチラ



ケヤキ



コブシ



メタセコイヤ



イロハモミジ



ヒマラヤスギ

2023年3月発行 世田谷区広報印刷物登録番号No2141

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
世田谷区庁舎整備担当部 庁舎管理担当課
TEL:03-5432-2088 / FAX:03-5432-3006